

ティンボアPCOと一般的な薬剤の比較

ティンボアPCO		一般的な薬剤	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホウ酸の一種 ・天然に産出される鉱物を精製 	有効成分	・合成殺虫剤(農薬)
	<ul style="list-style-type: none"> ・有り(JIS K1571 附属書Aの性能基準を満たす) ※水に濡れなければ、効果は無くなる ・CCA と同等と結論(ハワイ大、京大、Forintek 研究所の共同研究) 	防蟻性能	<ul style="list-style-type: none"> ・有り(JIS K1571 の性能基準を満たす) ※効果は5年以内に無くなる
	<ul style="list-style-type: none"> ・有り(JIS K1571 附属書Aの性能基準を満たす) ※水に濡れなければ、効果は無くなる ・CCA と同等と結論(ハワイ大、京大、Forintek 研究所の共同研究) 	防腐性能	<ul style="list-style-type: none"> ・有り(JIS K1571 の性能基準を満たす) ※効果は5年以内に無くなる
	<ul style="list-style-type: none"> ・無し(JIS K1571 附属書Aの性能基準を満たす) 	鉄腐食性	・無し(JIS K1571 の性能基準を満たす)
	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の空気を汚さない(非揮発性) 	安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児毒性との因果関係が報告(米国) ・溶剤揮散 ・シックハウス優先取組物質
	<ul style="list-style-type: none"> ・非固着型 ・地面に付けたり、雨に直接あたる用途の木材には不向き 	固着性	<ul style="list-style-type: none"> ・木材に固着 ・水が当たっても流れ出さない
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐性を持たれない 	害虫の耐性	・耐性を持たれ、だんだん効かなくなる
	<ul style="list-style-type: none"> ・「乾材シロアリに対して最も効果的な防除策は、(中略)すべての未処理材にホウ酸塩水溶液を散布することである。」 (Drywood Termite Control: Weighing All the Options 1997) 	乾材シロアリ	<ul style="list-style-type: none"> ・予防には使用不可(安全面、持続面) ・駆除処理には使用される
	<ul style="list-style-type: none"> ・米国環境保護庁(U.S.EPA)に認可された、数少ない木部用保存剤 ・全構造材に防蟻処理が必要なハワイ州で、ほぼ 100%のシェア 	米国では	・木部への予防的利用は禁止
	<ul style="list-style-type: none"> ・1930年代 オーストラリア ・1950年代 ニュージーランド ・1980年代 米国 ・1990年代 ハワイ参入 	歴史	・耐性を持たれ、およそ 10 年周期で新農薬が開発される